



特集

所沢発✈️空行き

～飛行場ができた町を旅しよう～

所沢市民の憩いの場、所沢航空記念公園。かつて、日本初の飛行場だったこの地で、人々の歓声を浴びて初めて飛行機が飛び立ち 107 年。今も見回せば、所沢のあちらこちらに飛行機に関するアイテムが。楽しみながら、今と昔の「航空発祥の地」を訪ねて、所沢の魅力探しをしてみませんか。

☎️ 広報課 ☎️ 2998-9024

所沢発 ⇒ 空行きの旅へご案内



藤本市長

市長の藤本正人です。市民の皆様、新年明けましておめでとうございます。新たな一年が、皆様にとって「飛翔の年」となりますように。

人と人の絆、人と自然との関係を見つめ直し、紡ぎなおしていく。本年も、そんな所沢を目指してまいります。引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

文化とみどりが魅力の所沢ですが、「航空発祥の地」としても知られているんですよ。



本号では、「航空発祥」をキーワードにした所沢の魅力を巡る旅へ、機長として皆様をご案内します。このマチの新たな魅力発見のきっかけになれば幸いです。それでは、間もなく離陸いたします。ごゆっくりお楽しみください！

航空発祥の地・所沢

日本初の飛行場ができた町

皆さんは飛行機に乗ったことがありますか？今では当たり前のように毎日飛行機が空を飛んでいます。世界で初めて有人動力飛行に成功したのは、わずか 115 年前のことなのです（1903 年（明治 36 年）ライト兄弟）。

これを受け、日本でも飛行場を建設することになり、選ばれたのが所沢でした。

1911 年（明治 44 年）4 月 5 日、フランス製のアンリ・ファルマン機に乗り込んだ徳川好敏大尉が、飛行場での日本初飛行に成功。最初は高度 15m・距離 800m、1 分間の飛行でした。

時を経て、飛行場は「所沢航空記念公園」などに変わりましたが、日本の航空史は間違いなく所沢から始まったのです。

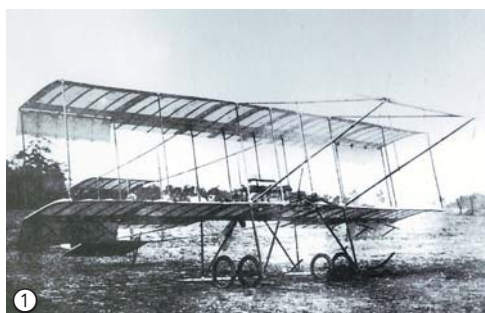
所沢の歴史といえはこの人！

とろざわまちづくり
野老澤町造商店ボランティアスタッフ
みかみひろし
三上博史さん（愛称は「ひげじい」）

所沢で生まれ育ち、今年で 80 年。小さいころから、所沢の空へ多くの飛行機が飛び立つ姿を見てきました。

日本の航空技術は、今や宇宙に行けるまでになりましたが、その最初の一步は所沢から始まったのです。

ぜひ、所沢の歴史を知って、「所沢ってこんなにすごいんだよ！」とみんなに自慢してくださいね。



①



②

①アンリ・ファルマン機は複葉機(羽が2枚)で、操縦席の後ろにプロペラがあるスタイルだった②アンリ・ファルマン機を参考に作られた、初の国産軍用機「会式1号」。レプリカが所沢航空発祥記念館のエントランスに展示されている

所沢には魅力がいっぱい！

